

いざ、地域決勝大会へ

Machida Dream まちだドリーム

ゼルビアと商店街が協力協定

FOOTBALL!

FC 町田ゼルビア | 2011年Jリーグを目指します! | <http://zelvia.jp/> | お問い合わせ: FC町田ゼルビア事務局 TEL. 042-727-5005



商店会連合会とゼルビアで

町田を盛り上げていきます!

SHOPPING!

町田商店会連合会 | 龍川商店街 成瀬・金町商店街 中央商店街 五川寺前商店街 水町・伊豆山商店街 西新町商店街 | <http://www.suki-machi.jp/> | お問い合わせ: 町田商店会連合会 TEL. 042-710-6694

日本初 商店街のカードと サッカーチームの会員証が共同に!

ポスターでも協力!

10月1日、株式会社ゼルビア、及びNPO法人アスレチッククラブ町田は株式会社まちだ商連、及び町田市商店会連合会と相互に協力することについて合意し、「町田市商店の発展とFC町田ゼルビアの前進に関する協力協定書」を締結しました。

当協定は、まず最初に両者がゼルビアのJリーグ昇格と商店街の発展のために相互に協力することを約束し、そのうえで、現在「株式会社まちだ商連」が運営している「すき・まち POINT」のICカードシステムとFC町田ゼルビアの「サポート会員証」を来年度から共用しようというものです。この試みは日本初の試みとして注目されるものです。

さらに、相互にポスターを作製し、町田中の商店会加盟の店舗(約1200店舗)に貼り出していくこととしています。この試みは相互に恩恵があるものであるとともに、町田市の活性化に大きく寄与できるものと期待されているところです。

ゼルビアの会員証がICカードに

日本初の試みとして注目されている「カードの共用化」は、現在「株式会社まちだ商連」が運営している商店会の「すきまち POINT」カードと09年度からのゼルビアのサポート会員証を同じシステムのもとで運営していくもので、最初の3000枚は「株式会社まちだ商連」が作成した現在運用しているカード(未使用)に加工を加え、ゼルビアサポート会員の会員証としていくとともに、3000枚を超えて必要となる分については従来の機能を兼ね備えたまったく新規のICチップ入りのゼルビアサポートクラブ会員証を作成することとしています。

このことにより、ゼルビアが1つの加盟店となったことと同じ意味もあり、ゼルビアのグッズや入場券(来年JFLに昇格した際には有料入場券となります)を購入した際に「すきまち POINT(100円につき1ポイント)」が加算されることとなり、そのポイントで街中のお店で買い物ができることとなりますし、街中で買い物したポイントでゼルビアの入場券が買えるということにもなります。

また、入場する際にゲートでこの「新会員証」を端末にかざしていただくことで、10ポイントをサービスさせていただきます。サポート会員にとってはチケット購入時にポイントがつき、さらに来場することによってさらにポイントがつくことになります。この入場ゲートでチェックすることによって、たとえば「ホームゲーム17試合中10試合以上にお越しいただいた方に特典プレゼント」というようなファンサービスの向上をはかることができます。

まちの活性化に貢献

この協定の締結は、ゼルビアにとっては「町田を元気にしよう」「町田にJリーグクラブをつくらう」という機運づくりに大きく寄与する効果がありますし、商店会連合会としても「すきまち POINT」の会員を一挙に大量加入することができる、と相互に恩恵があり、同時に町田のまちを活性化させることができる大きな効果が期待できるものと想定しています。

2月頃の09会員募集までの間、さらに詳細を相互に詰めあい、両者の会員のサービス向上、両者の発展、さらには町田市の活性化につなげていけるよう工夫を重ねて参ります。どうぞご期待ください。

※写真は、ゼルビアが作成した商店会との協力を表したポスター。「商店会連合会とゼルビアで町田を盛り上げていきます!」とお約束しています。11月より町田の商店街で貼り出し予定。



太郎と花子の
「地域決勝大会」ってな～に?
さあ、町田の将来を決する戦いへ

一番過酷な闘い

花子「『大壮行会』ってやたらギョウギョウしいけど、ナンデ？」
太郎「そりゃそうさ。ゼルビア史上最大の決戦だぜえ。すっげえ勝負なんだ。大大大大壮行会ってくらいさ」
花子「だからなんで史上最大の決戦なのよ～！」
太郎「いいか。我がゼルビアは2011年のJリーグ昇格をめざしている。だから一刻も早くその一つのJFLに昇格したいのだが、このJFLへの昇格が一番大変なんだ。ここをクリアできれば本当にJリーグ入りが見えてくるんだよ。そのJFLへの昇格をかけた戦いに出発するから『大壮行会』なんだ」
花子「そんな大変な大会なの？」
太郎「この『地域リーグ決勝大会』というのは、我が国サッカー界でもっとも過酷な戦いと言われていて、9日間で6試合を戦い、その結果でJFLに昇格できるかできないかが決まるといふもの。少しの失敗も許されないホントにシビアな戦いなんだ」

花子「何チームが出場して何チームが昇格できるの？」
太郎「ゼルビアのいる関東リーグは2位まで出られて全国の地域リーグの代表16チームが戦って上位2チームが自動的にJFLに昇格できるんだ」
花子「勝ち抜き戦(トーナメント)なんでしょ？」
太郎「そうじゃない。16チームが4チームごとの4ブロックに分かれるんだ。高知、福岡、鳥取(2会場)の4グループに分かれて、4チームが総当たり。だから各チームは3試合行うことになる。これが一次ラウンド。そしてそのブロックごとに1番になったチームが石垣島に移動して3日後からまた総当たりの決勝ラウンドを行って、その上位2チームがJFLに昇格できるんだ」
花子「3日連続で試合して、3日で石垣島に移動してまた3日連続で試合するのね。これは本当に過酷ねえ。でも今年のゼルビアは大丈夫なんでしょ。」

第一次ラウンドが勝負!

太郎「確かに前評判はいい。関係者ではゼルビアが一番有力のように言われている。そして実際に、昨年よりは格段に強くなっている。リーグ戦成績でも無敗だし得点力が大幅にアップしている。実力的には大丈夫だと言われている。」
花子「私も今年はゼルビアが上がる! って聞いたもの」
太郎「でもこの試合は延長戦なしでPK戦になるシステム。延長戦なしで勝って勝点3。PKで勝って勝点2。PKで負けたら勝点1。だからどのチームもものすごく守備的な試合運びをしてくる。守備的な相手に90分内で点が取れないと番狂わせが生じてしまう。だから一次リーグで1位になれるかどうか最大の勝負だ。昨年はこの1次リーグで2位で終わってしまい、決勝ラウンドに進めなかったんだ」

花子「そうか。一次ラウンドで1位になれるかどうか勝負なのね。決勝ラウンドに行ければ大丈夫なの？」
太郎「決勝ラウンド進出4チーム中上位2チームが無条件で昇格できるし、3位チームは入替戦に臨むことができる。さらに、今年はJFLからJリーグに3チームも昇格する可能性があるから、その場合は3位チームも自動昇格だ。また、仮に2チームだとしても4チーム中2位までというのなら実力のあるチームならここまでは入る。今年のゼルビアなら4チーム中2位までには必ず入る。だからなんと言っても一次ラウンドで1位になれるかどうかだ」
花子「そんな大切な戦いをすごいところでやるわね。なんで石垣島なの？」
太郎「それは分からない。去年は愛知で一次ラウンドで、埼玉で決勝ラウンドと近くて良かったけど、今年はなんと九州や四国、さらに不便な鳥取で一次ラウンド。そして決勝ラウンドは石垣島(沖縄からまた飛行機)とものすごくコストのかかるコース。関係者の間では『本気で』めざしているなら、これくらいの資金力を持って」と各チームの本気度を試しているのではないかと、言われている」

資金力で変わってしまう闘う条件!

花子「ゼルビアの場合はいくらくらいかかるの？」
太郎「一次ラウンドの2日前に出発しても12日間の行程。チームが負担する35名だけで計算して旅行代理店に支払うだけで1000万円前後になる見込みだ。これは登録選手22名のみ。これに監督コーチにトレーナーや協会理事だけ。フロントは1名だけの計算だ。社長、代表はもちろんボランティアのマネージャーまで自腹で行ってもらうこの費用。」
花子「ボランティアの女性マネージャーも自腹ってひどくないっ！」
太郎「でもこれがゼルビアの今の現実だ。みんな手弁当で出合っチームを支えている」
花子「あと、がんばってきたサブのメンバーは一緒に行けないのっ！」
太郎「本当に残念だが町田で自主練習だ。この間にも地域のお祭りに参加してゼルビアのPRに努めながら気持ちは一緒に戦ってくれているだろう」
花子「ホントにかわいそう。心を鬼にして、削って削って、仕事してくれるマネージャーにも出さないでこれだけの費用になるのね! まさか選手は船で移動とかはないでしょうね。」
太郎「さすがそれはないが、昨年の全国社会人大会では選手は30人一緒の大広間の雑魚寝で一週間過ごした。用意できる資金次第で選手の闘う条件(ホテルか民宿か。大広間か3人1部屋かシングルか。食べ物のレベル。宿泊場所から試合会場までの距離)すべてが変わってくる。シビアな現実だ」

速報ゼルビアの一次ラウンドの会場が決定しました。ゼルビアは11月22日から鳥取県にて第1次ラウンドを戦います。応援よろしくお願ひ致します。



2008年度 関東社会人リーグ 優勝
ゼルビア2011年 宣言

町田の将来が変わる決戦!

花子「そうよね。ホーム最終戦で選手が『石垣島募金』をしていたとき、選手が『もう30人の雑魚寝はゴメンです』って試合前なのに必死にお願いしていたものね。私も応援しなくっちゃ。どうすればいいの？」
太郎「この『大壮行会』のチケットを購入することも大切な応援なんだよ。」
花子「確かに1万円だけど、私が会場に行っちゃったらお金がかかっちゃうからチームの応援にならないじゃない」
太郎「君は一万円分も食べられるかい? 何百人も来るパーティーなんだ。一人あたり1万円もかからない。その差額がチームの資金なんだよ。それと『壮行会』には行くあてないけど買ってくれるのは完全な寄付だ。また『純粋に寄付しよう』という方のためにチームは『寄付口座』もつくったって。あの手この手でチームも必死だ。」
花子「わかったわ。いろいろな意味でゼルビア史上最大の決戦なのね。ゼルビアがJFLに上がれば本当に『J』が見えてくるわね。そうなれば私たちの町も変わってくるわね。私たちの毎日がもっと楽しくなりそう。」
太郎「この戦いは町田市の将来も変える結果になるんだろうね。町田市民の夢を乗せての戦いだ。」
花子「私だけでなく、みんなにも応援をお願いします! **がんばれゼルビア! 町田の夢を乗せて!**」

JFL昇格決戦
「大壮行会」
2011年
まちだドリーム実現へ
日時 2008年11月12日(水)
19時開会
場所 ホテル ザ・エルシィ町田
B1F 瑞穂の園
会費 ￥10,000-

**地域
決勝大会**
第一次ラウンド
11月22日～24日
鳥取2会場、福岡、高知
決勝ラウンド
11月28日～30日
石垣島

MACHIDA
Zelvia 石垣島募金
ご協力お願い致します
寄付金の振込先はこちらです。
横浜銀行 町田支店
普通預金 2024302
名義:カ)ゼルビア キフキングチ
お名前、ご住所、ご連絡先をお知らせいただければ幸いです。
info@zelvia.jp 又は FAX 042-727-6064 まで。



夢おこし まちおこし 町田チャレンジ

町田の夢を呼び醒まして、まちを元気にして、
市民と企業と行政が一緒になって、
町田を活性化していけたら。
ゼルビアと一緒にチャレンジ! よろしくお願ひいたします。

